

ベリマーク[®]SC

VERIMARK

登録番号 第24090号

種 類 名 シアントラニリプロール水和剤
cyantraniliprole

殺虫剤分類 28

性 状 類白色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4 年

有効成分 シアントラニリプロール 18.7%

毒 性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包 装 (100mℓ×10本)×6箱

■特 長

1. ハスモンヨトウ、オオタバコガ、コナガ等のチョウ目害虫および、コナジラミ、アブラムシ、ネギアザミウマ、ナモグリバエ等の広範囲な害虫に卓効を示します。
2. 速やかに食害を停止させ、ウイルス媒介を抑制する効果も認められます。
3. 速やかな吸収移行性により長い残効性を示します。
4. 有用昆虫、周辺環境等に対する影響の少ない薬剤です。
5. 生育期の灌注処理に適した製剤で苗に対して高い安全性が確認されています。

最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用害虫名及び使用方法

(2025 年 1 月 15 日現在)

作 物 名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	シアントラニリプロールを含む農薬 の総使用回数	使用方法
キャベツ	ヨトウムシ ネキリムシ類 ウワバ類 アザミウマ類 アブラムシ類 ハイマダラノメイガ シロイチモジヨトウ キスジノミハムシ	400	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1 回	4 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理 は 3 回 以 内〕	灌 注
カリフラワー	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ					1 回	
ブロッコリー	アザミウマ類 アブラムシ類 シロイチモジヨトウ						
	ハイマダラノメイガ			は種覆土後 ～定植当日			
はくさい	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類 アブラムシ類 シロイチモジヨトウ キスジノミハムシ			育苗期後半 ～定植当日		4 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理 は 3 回 以 内〕	
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ アブラムシ類 ヒメフタテンヨコバイ ウワバ類 シロイチモジヨトウ コオロギ類			定植当日			
しそ	アブラムシ類			育苗期後半 ～定植当日		1 回	

作 物 名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	シアントラニリプ ロールを含む農薬 の総使用回数	使用方法
ね ぎ	タマネギバエ タネバエ	400	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1 回	4 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理 は 3 回 以 内 (但し、株元灌注 は 1 回 以 内)〕	灌 注
	シロイチモジヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類 ネキリムシ類 ネギコガ				1 回		株元灌注
		2,000	0.5ℓ/m ²	収穫7日 前まで			
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	2,000	0.1ℓ/m ²	収穫7日 前まで	1 回	1 回	灌 注
非結球あぶらな 科 葉 菜 類 (ケールを除く)	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ アブラムシ類	4,000	0.2ℓ/m ²		1 回	2 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理 は 1 回 以 内〕	
	ケ ー ル				1 回		
	アオムシ コナガ アブラムシ類			1 回			
	ネキリムシ類	400	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	定植当日	1 回		
い ち ご	ハスモンヨトウ	1,000	25～50mℓ/株	育苗期後半	1 回	4 回以内 〔定植時までの 処 理 及 び 定 植 直 後 の 株 元 灌 注 は 合 計 1 回 以 内、 定植後の散布は 3 回 以 内〕	株元灌注
	アブラムシ類		50mℓ/株	育苗期後半 ～定植当日			
	ハスモンヨトウ アザミウマ類 コナジラミ類 コガネムシ類 チバクロバネキノコバエ						
		ハスモンヨトウ	10,000	500mℓ/株	定植直後		
	ト マ ト ミニトマト	コナジラミ類	200	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1 回	5 回以内 〔定植時までの 処 理 及 び 定 植 直 後 の 株 元 灌 注 は 合 計 1 回 以 内、 定 植 後 の 株 元 灌 注 は 1 回 以 内、 定植後の散布は 3 回 以 内〕
10,000			1～3ℓ/m ²	定植14日 後まで	1 回	株元灌注	

作 物 名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の 使用回数	シアントラニリ プロールを含む農薬 の総使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量				
きゅうり	アブラムシ類	400株当り 25mℓ	400株当り 2～20ℓ (1株当り 5～50mℓ)	育苗期後半 ～定植当日	1 回	4 回以内 〔定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計1回以内、 定植後の散布 は3回以内〕	灌 注
			400株当り 20～200ℓ (1株当り 50～500mℓ)	定植直後			株元灌注
	アザミウマ類		400株当り 20ℓ (1株当り 50mℓ)				
	アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類		400株当り 10～20ℓ (1株当り 25～50mℓ)	育苗期後半 ～定植当日			灌 注
ト マ ト ミニトマト	アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 トマトキバガ コナジラミ類		400株当り 20～200ℓ (1株当り 50～500mℓ)	定植直後		5 回以内 〔定植時までの 処 理 及 び 定 植 直 後 の 株 元 灌 注 は 合計1回以内、 定 植 後 の 株 元 灌 注 は 1 回 以 内、 定植後の散布は 3 回 以 内〕	株元灌注
	コナジラミ類		400株当り 20～200ℓ (1株当り 50～500mℓ)	定植直後			株元灌注
ピーマン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類		400株当り 10～20ℓ (1株当り 25～50mℓ)	育苗期後半 ～定植当日	1 回	4 回以内 〔定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計1回以内、 定植後の散布 は3回以内〕	灌 注
	コガネムシ類		400株当り 10ℓ (1株当り 25mℓ)				
	アブラムシ類		400株当り 20～200ℓ (1株当り 50～500mℓ)	定植直後			株元灌注
な す	ネキリムシ類 ハモグリバエ類 アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類		400株当り 10～20ℓ (1株当り 25～50mℓ)	育苗期後半 ～定植当日	1 回	1 回	灌 注
	アブラムシ類		400株当り 20～200ℓ (1株当り 50～500mℓ)	定植直後			株元灌注

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量				
ししとう	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	400株当り 25mℓ	400株当り 10ℓ (1株当り 25mℓ)	育苗期後半 ～定植当日	1回	4回以内 〔灌注は1回 以内、散布 は3回以内〕 1回	灌 注
メロンス すいか			400株当り 10～20ℓ (1株当り 25～50mℓ)				
	アブラムシ類		400株当り 20～200ℓ (1株当り 50～500mℓ)	定植直後			株元灌注

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用前によく振ってから使用してください。
2. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
3. 薬液調製後はできるだけ速やかに使用してください。
4. アルカリ性の農薬や肥料との混用はさけてください。
5. 本剤は土壌表面に処理することで効果を発揮することから、株元灌注を行う場合には、作物の株元に処理出来る時期に処理してください。
6. 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
7. みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
8. 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。
9. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

11. 誤飲などのないよう注意してください。
12. 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。処理器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。